

アートランバーリフ 施工説明書

オプションパーツ

必ずお読みください

シェルフアンダーボックス
ドロワーアンダーボックス
補強束<ダボ穴無し>
補強束<ダボ穴有り>

仕切束<ダボ穴無し>
仕切束<ダボ穴あり>
棚板<補強束用><仕切束用>
エンドパネル

NANKAN 南海プライウッド株式会社

〒760-0067 香川県高松市松福町1丁目15番10号

北海道・東北営業グループ TEL(087)825-3632 FAX(087)825-3695

関東営業グループ TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645

中部東海営業グループ TEL(087)825-3622 FAX(087)825-3646

近畿営業グループ TEL(087)825-3623 FAX(087)825-3647

中四国営業グループ TEL(087)825-3624 FAX(087)825-3648

九州営業グループ TEL(087)825-3625 FAX(087)825-3649

特需営業グループ TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669

テクノ営業グループ TEL(087)825-3657 FAX(087)825-3659

ホームページ <http://www.nankaiplywood.co.jp/>

施工される方へ

施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修は致しかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

ご注意

施工する前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行いますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わず施工を行った場合については、当社での保証はいたしかねますのでご注意ください。

■施工上のご注意



屋外使用禁止

本製品は「内装専用」です。屋外には使用できません。



水・湿気禁止

屋内であっても直接水のかかる場所や湿度の高い場所には使用しないでください。



溶剤厳禁

水・油・インク・薬品等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。



粘着テープ使用禁止

製品の表面に粘着テープ(セロハンテープ・シール等)を使用しないでください。



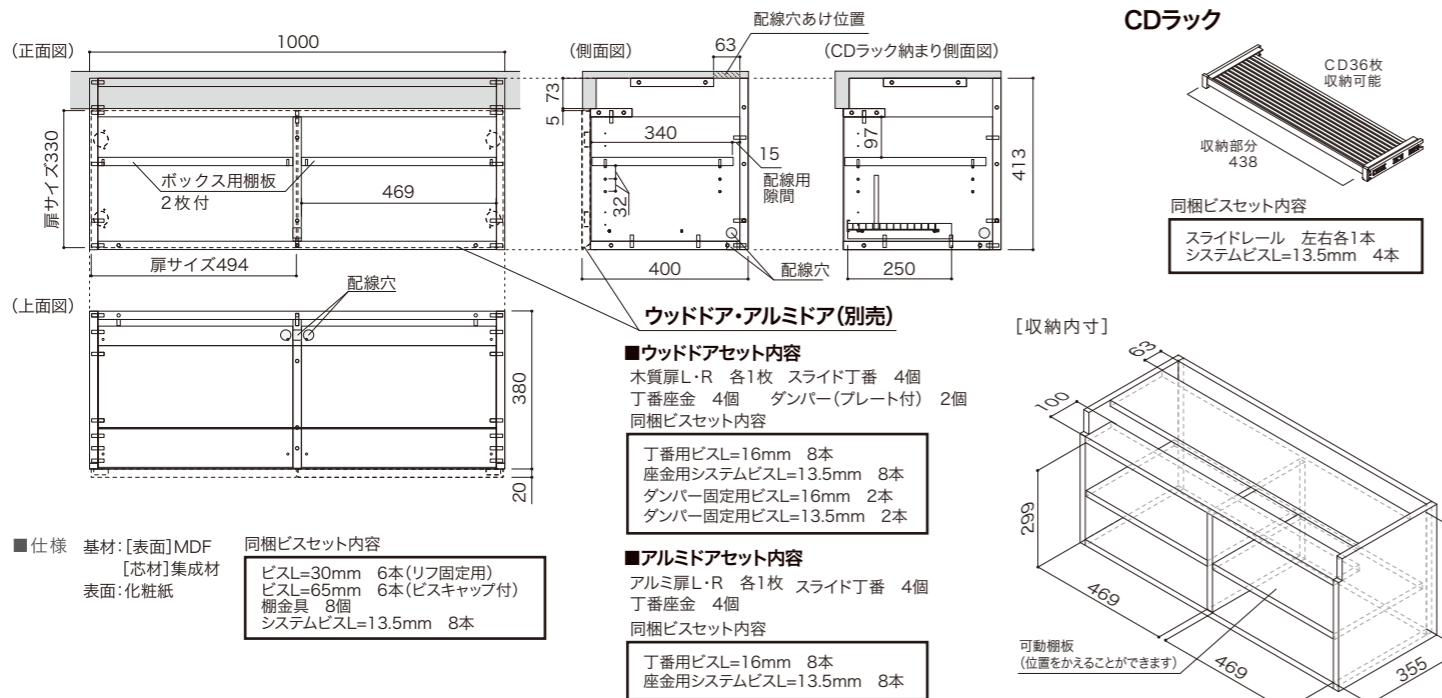
傷注意

施工時に部材表面の化粧紙を傷付け不要ご注意ください。

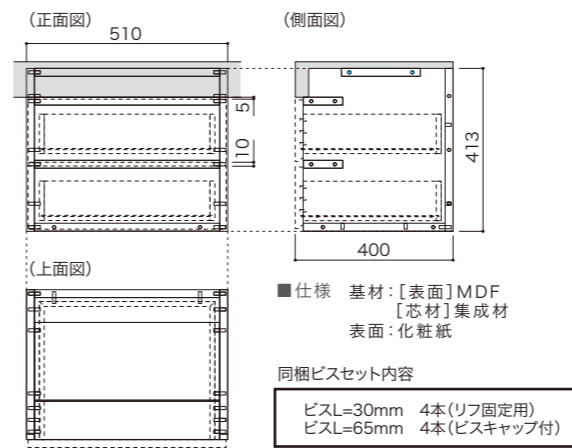
■アートランバーリフ オプション製品図面

単位: mm

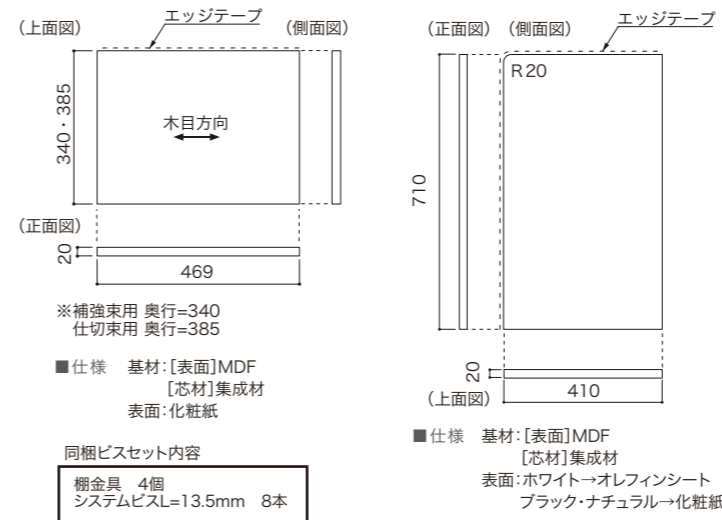
シェルフアンダーボックス



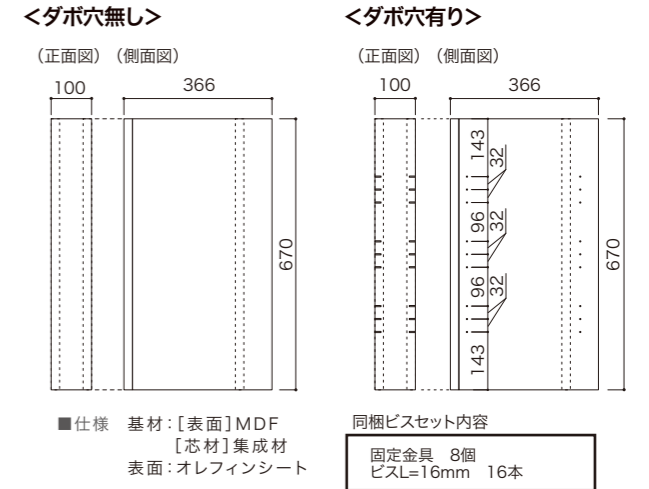
ドロワーアンダーボックス



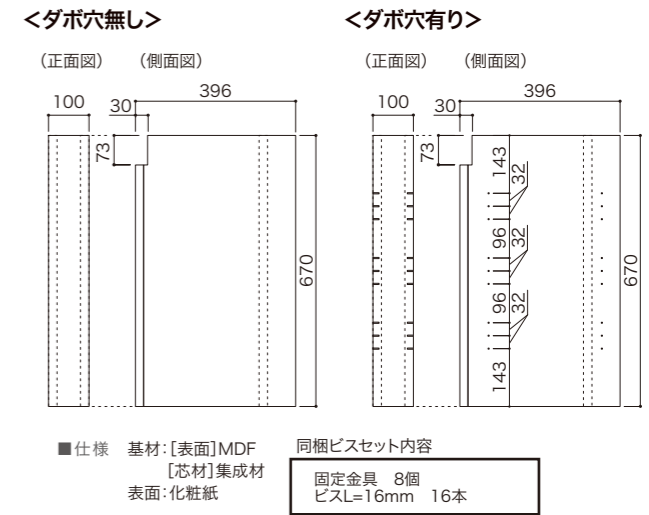
棚板(補強束用)<仕切束用> エンドパネル



補強束



仕切束



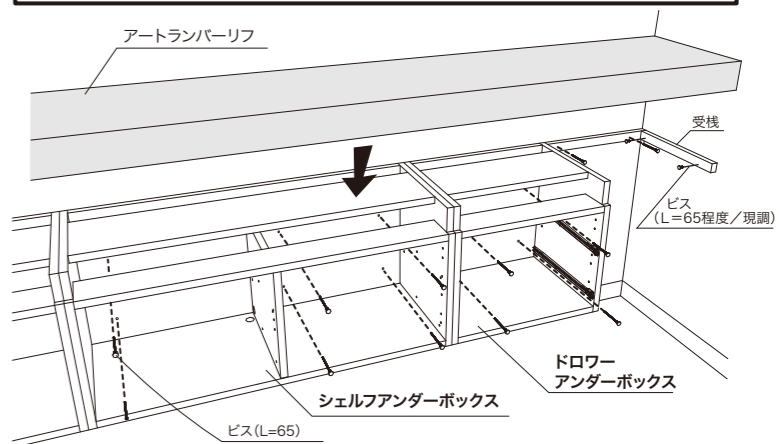
■アンダーボックス (シェルフアンダーボックス / ドロワーアンダーボックス) 施工のポイント

単位: mm

- アンダーボックスは完全に組まれた状態で梱包されています。シェルフアンダーボックスの場合は棚板を、ドロワーアンダーボックスの場合は引出しを事前に取り外しておきます。
- アンダーボックスを壁面に付属のビス(L=65)で固定します。
※ビス(L=65)はビスキャップ付です。ワッシャーを通してビス打ちしてください。
- アンダーボックスの無い部分は、受棧(20×30程度/現調)をボックス背板上部と同じ高さにそろえ、ビス(L=65程度/現調)をつけて固定します。
- アートランバーリフを設置し、アンダーボックス内部から天板に向かって付属のビス(L=30)で固定します。

アンダーボックス設置位置・受棧取り付け位置壁面に下地(合板12mm厚)があることをご確認ください。

アンダーボックス及び受棧を壁面に固定する際、必ず水平器を使用し、水平を出して施工してください。



※アンダーボックスは、アートランバーリフを奥行き400mmに寸法カットすることを前提に設計されています。上図(側面図)のように納めるにはアートランバーリフを出荷時の寸法である404mmから4mmカットする必要があります。

- 付属の棚板を取り付けます。(CDラックを取り付ける場合は、ボックス用棚板よりも先に取り付けてください)ドロワーアンダーボックスの場合は、外しておいた引出しを取り付けます。最後に、シェルフアンダーボックスにドア(別売品)を取り付けます。

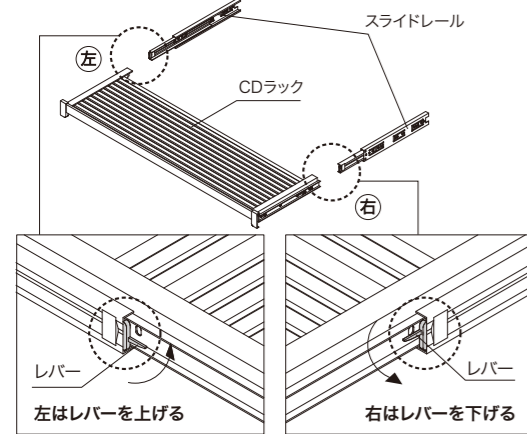
- 参照:裏面
- 5-1 CDラックの取り付け
 - 5-2 ボックス用棚板の取り付け
 - 5-3 ウッドア・アルミディアの取り付け

■シェルフアンダーボックス付属品 施工のポイント

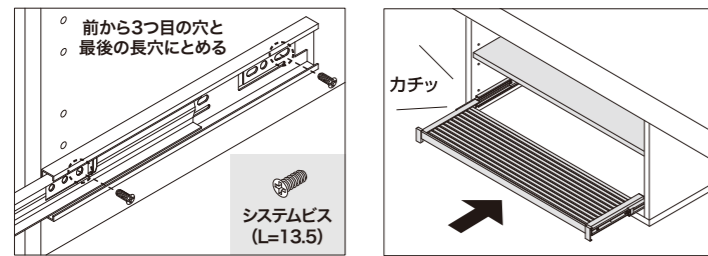
単位：mm

5-1 CDラックの取り付け

- (1) スライドレールを取り外します。
CDラックのスライドレールを右はレバーを下げた状態、左はレバーを上げた状態で取り外してください。

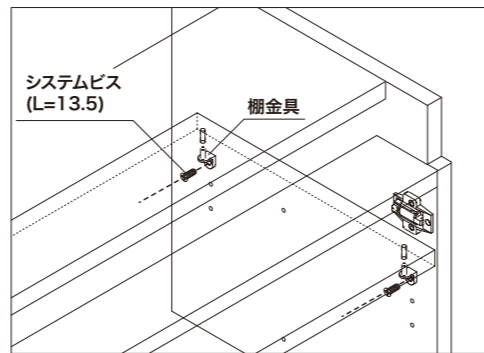


- (2) スライドレールを側板に同梱のシステムビス L=13.5mm で取り付けます。
(3) CDラックをはめ込みます。
(正しくはめ込むとカチッと音がします。)



5-2 ボックス用棚板の取り付け

- ※ウッドア・アルミドアを取り付ける場合は、先に丁番座金を取り付けておくことをおすすめします。

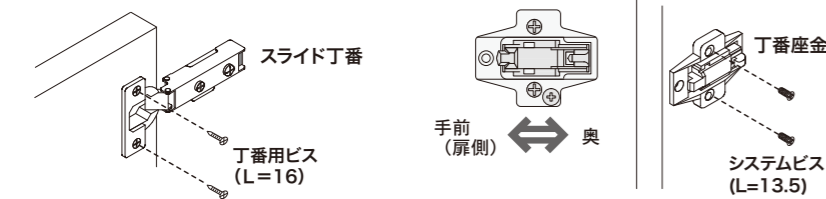


棚板のダボ穴に棚金具の突起を差し込みます。
(棚金具のシステムビスL=13.5を外し、棚位置をかえることができます。)

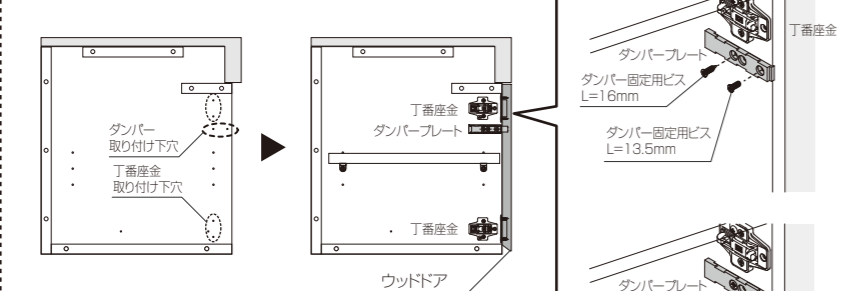
5-3 ウッドア・アルミドアの取り付け

※CDラックを取り付ける部分に扉を取り付けることはできません。

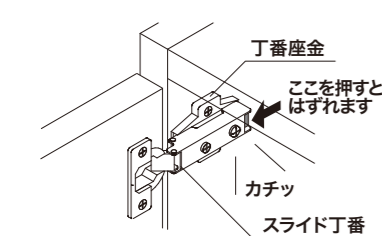
- (1) 扉にスライド丁番を丁番用ビス(L=16mm)を使って取り付けます。
(2) ボックス側板に丁番座金を座金用システムビス(L=13.5mm)を使って取り付けます。



- (ウッドアの場合のみ)先にダンパーを取り付けておきます。
扉の開閉をスムーズにするために、下図のとおりダンパーを取り付けます。



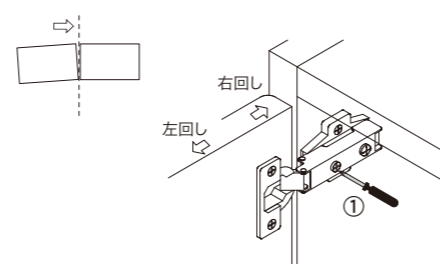
- (3) スライド丁番を丁番座金にはめこみます。



扉の調整

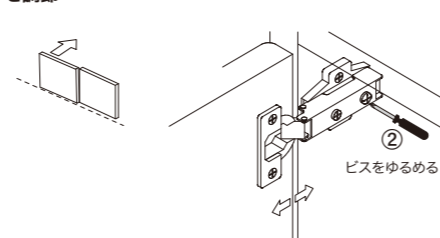
扉の左右の位置を調節

下図①に示すネジを右に回すと扉が(正面から見て)左に移動し、ネジを左に回すと右に移動します。



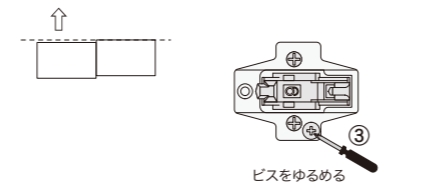
扉とボックスの隙間(前後)を調節

下図②に示すネジをゆるめ、扉を前後に動かして調節し、ネジを締め直して固定してください。



扉の上下を調節

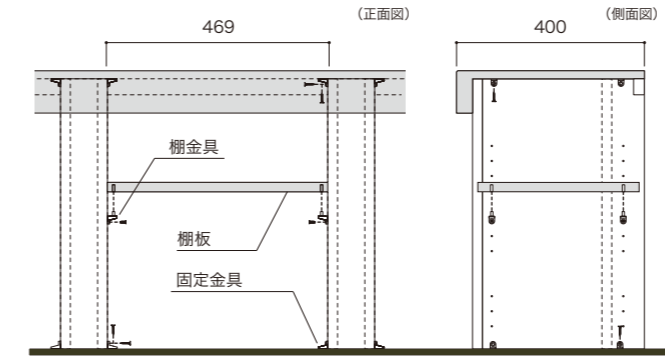
下図③に示すネジ(丁番座金にあります)をゆるめ、扉を上下に動かして調節し、ネジを締め直して固定してください。



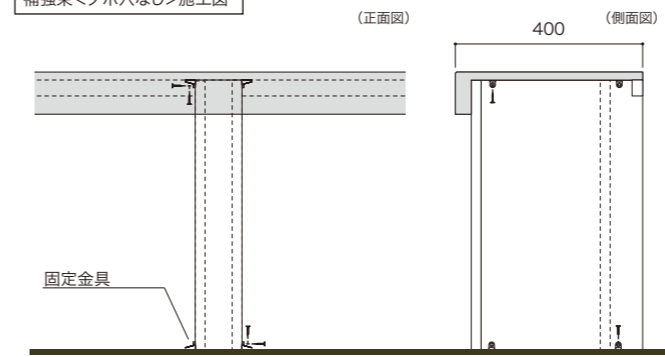
■補強束・仕切束・棚板 施工のポイント

単位：mm

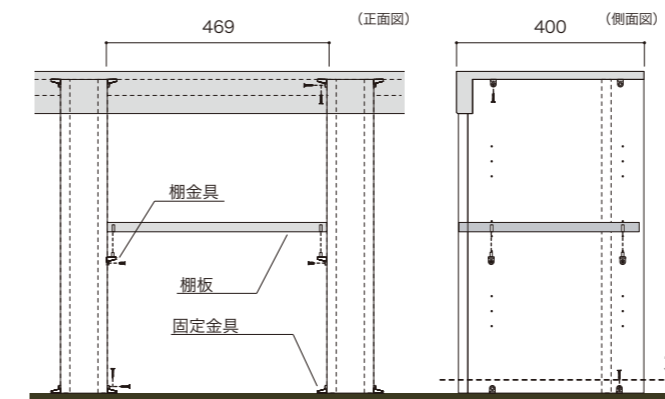
補強束<ダボ穴あり>施工図



補強束<ダボ穴なし>施工図

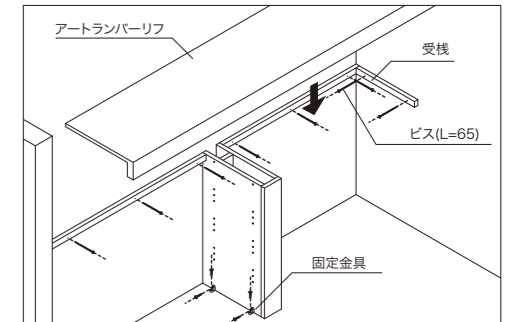


仕切束<ダボ穴あり>施工図

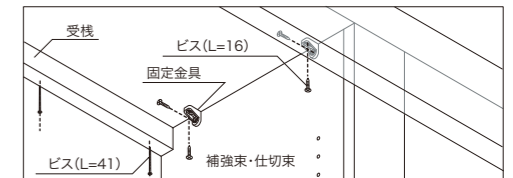


1. 補強束・仕切束を組み立てる前に、アートランバーリフ取り付け高さ寸法に応じて側板、前板等を寸法カットします。
※仕切束の側板は切り欠きのない側からカットしてください。(仕切束施工図参照)
※補強束・仕切束は、アートランバーリフを奥行き400mmに寸法カットすることを前提に設計されています。左図(側面図)のように納めるには、アートランバーリフを出荷時の寸法である404mmから4mmカットする必要があります。

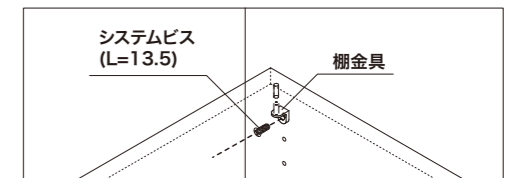
2. 補強束・仕切束を組み立て、固定金具と同梱のビス(L=16)で、床に固定します。補強束・仕切束の無い部分は、受桟をビス(L=65)にて、ピッチ=450mm以内で下地(12mm合板程度)のある壁に固定します。



3. アートランバーリフを補強束・仕切束の上に設置し、固定金具と同梱のビス(L=16)で固定します。



4. 棚板を取り付ける場合は、棚金具を同梱のシステムビスで固定し、突起部分に棚板のダボ穴を差し込みます。(補強束・仕切束ともに<ダボ穴あり>の場合のみ)



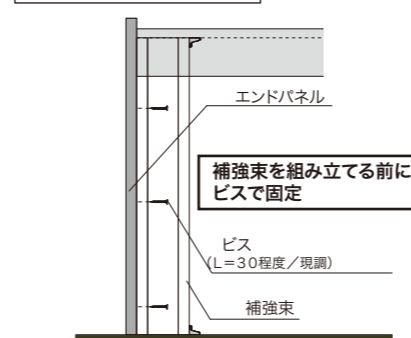
棚板1枚
↑
棚金具 4個
システムビスL=13.5 4本

■エンドパネル 施工のポイント

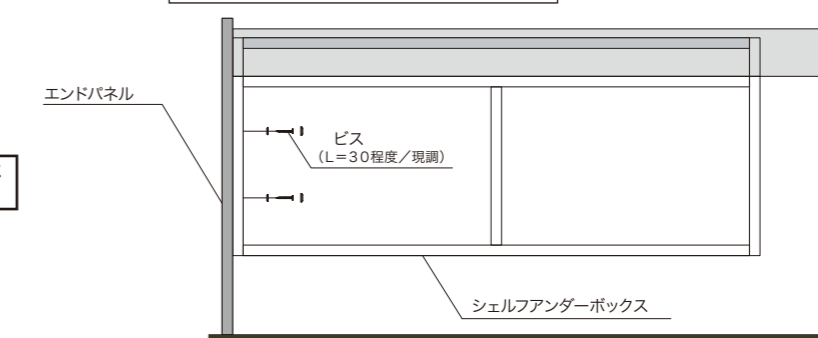
※エンドパネルに荷重補強性能はありません。必ず補強束、アンダーボックス併用で使用してください。

単位：mm

(エンドパネル+補強束施工図)



(エンドパネル+シェルフアンダーボックス施工図)



補強束、またはシェルフアンダーボックスの内側側板より、ビス(L=30程度/現調)でエンドパネルを固定します。
補強束に取り付ける場合は、補強束を組み立てる前に、エンドパネルを取り付けてください。